

# 企業を呼び込め! 千葉県の企業誘致



4月に開通し、県の立地優位性向上に貢献している圏央道



企業立地が進む  
かずさアカデミアパーク



機能強化が進む成田国際空港  
(写真提供・成田国際空港株式会社)

促していく  
企業にも立地を

千葉県内では圏央道の整備が急ピッチで進む。圏央道は首都圈を環状に走る総延長300キロほどの高規格幹線道路。県内で東京湾アクアラインから茂原市など県中央部を通り、茨城県に抜けるルートが計画されている。これは成田空港への経路となる大栄・松尾横芝間も今年度から整備が本格化している。

千葉県にとって圏央道開通は大きな意味を持つ。全線開通すれば県内から都心を経由せずに神奈川、茨城、埼玉の各県とつながり、成田・羽田の二大空港への利便性も飛躍的に高まる。成田空港では14年に向けての発着回数が30万回に向けた整備が始まっている。木更津市と川崎市を結ぶ新航空会社(ＬCC)の就航も相次ぎ、利便性が増している。

千葉県は、このままの開通は大きな意味を持つ。全線開通すれば県内から都心を経由せずに神奈川、茨城、埼玉の各県とつながり、成田・羽田の二大空港への利便性も飛躍的に高まる。成田空港では14年に向けての発着回数が30万回に向けた整備が始まっている。木更津市と川崎市を結ぶ新航空会社(ＬCC)の就航も相次ぎ、利便性が増している。

千葉県は今秋、策定し

ぶ東京湾アクアラインで運行料金引き下げの社

会実験が継続中だ。平日の大型車交通量が実験前

に比べ増加し、大型アフ

ト

端産業の集積を目指し、

91年に分譲を開始した。

かずさアカデミアパー

クはバイオ、ITなど先

端産業の集積を目指し、